

# 翔通信 9, 10月号

## ※お詫び

翔通信は2か月に1回発行していましたが、先月8月発行ができませんでした。お詫び申し上げます。

全国的な猛暑、酷暑が続いた今年の夏、豪雨災害や頻発する台風など、痛ましい情報が絶えませんでした。災害に遭われた方々の一日も早い復興をお祈りするとともに、他人ごとではないことを肝に銘じながら子どもたちの安全を守るための意識、警戒をより一層強めております。特にこの夏の暑さは、これまでの“夏ならではの活動”そのものを考え直さなければならぬほど危険を伴うもので、乳幼児にとっては文字通り死活問題です。9月に入り少し過ごしやすくなるかと思いますが、引き続き警戒をしていきたいと思っております。願わくば、子どもたちが秋ならではの活動を外で思う存分体験できることを期待しております。

## トピック

- 泉チェリー保育園、西多賀チェリー保育園が幼保連携型認定こども園に変わります！（※認可申請中）
- 保護者会行事（クラス毎）続々決定！
- こども園化と宮城県
- 性的虐待と男性保育者

●泉チェリー保育園、西多賀チェリー保育園が幼保連携型認定こども園に変わります！（※認可申請中）

当園を含めた姉妹園の西多賀チェリー保育園、泉チェリー保育園の3園は社会福祉法人北杜福祉会が運営をしております。この度、保育園である、西多賀、泉の2園が保育園から「幼保連携型認定こども園」へ認可変更を行い、姉妹園全てが“認定こども園”となります。

変更の事由としては泉第2チェリーこども園の過去2年間の実績評価を受けて、姉妹園すべてをこども園化する決定に至りました。

泉第2チェリーこども園が認められたようでとてもうれしい限りですし、姉妹園全てがこども園となることでこれからどんな変化、反応が起こるかとても楽しみです。その影響が、子どもたちや取り巻く人、保育環境に良い影響を与えられるものになることを願い、微力ながら提案をしていきたいと思っております。

もちろん泉第2チェリーこども園としても子どもの最善の利益のために、おもしろいことをこれからもどんどんやっていきますよ！

●保護者会行事（クラス毎）続々決定！

今年度から当園の保護者会で新たに予算組みされた「クラス活動費」ですが、続々と用途が確定し、予定が決まっているようです。リトミック、ベビーマッサージの講師をお呼びしたり、花火大会を企画したり、工夫を凝らした保護者目線の内容が決定しております。

お仕事でお忙しい中、内容を考えたり、依頼したり、日程を調整したりすることは大変だと思っておりますが、子どもたちのために何とか良いものを！という親心には敬服いたします。ぜひ思いのこもった企画を成功させていただきたいと願っております。

## ●こども園化と宮城県

認定こども園になることや、その中で行われることはとても良い側面がたくさんあります。そんな良い面が発揮される園や法人が増えていくことを切に願っているのですが、少し広くこども園化について見てみると非常に厳しい現実も見えてきます。

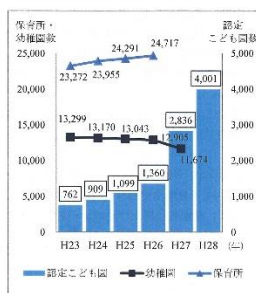
こども園化することの有益性は全国各所で成功事例として実証され、それが全国的なこども園数にも如実に表れており、今年度のこども園数は全国 6000 園を超え、上昇率も年々増加しております。そんな中宮城県のこども園数は全都道府県中ワースト 4 位です。増加率で言うと宮城県以下の 4 県（宮城、香川、沖縄、三重）の中で最下位です。全国的な動きと比較すると、仙台市、そして宮城県は相対的に非常に遅れていると言わざるを得ません。数が多ければ良いわけではないですし、幼稚園や保育所のままであることが悪いわけではありませんが、こども園になることの有益性は確実に立証されており、それが全国的な移行数にも表れているのにその中で数が少ないということは何を意味するのでしょうか・・・。

### 1. 認定こども園の現状

【施設数は平成 27 年以降大きく増加し、平成 28 年は 4,001 件。幼保連携型の割合がもっとも高く、保育所からの移行が多い】

はじめに、全国の認定こども園、保育所および幼稚園の施設数について、平成 28 年までの過去 6 年間の推移をみた（図表 1）。

（図表 1）平成 23 年～28 年における各施設数の推移



資料出所：各施設ごとに次のとおり  
 認定こども園：内閣府子ども・子育て本部「認定こども園の概況について」（毎年 4 月 1 日時点）  
 （認定から 4 施設）  
 保育所：厚生労働省「社会福祉施設等概況」（毎年 10 月 1 日時点）。なお、平成 27 年 10 月 1 日時点の施設数は現時点で発表されていない  
 幼稚園：文部科学省「学校基本調査」（毎年 6 月 1 日時点）

認定こども園は平成 26 年までは緩やかに増加しているが、平成 27 年から大きく増加し、平成 28 年は 4,001 件であった。これは、平成 27 年にスタートした子ども・子育て支援新制度において幼保連携型認定こども園の認可・指導監督が一元化されたことや財政措置が施設給付型

に一本化されたことを受け、認定こども園への移行が容易になったことが影響していると考えられる。

なお、認定こども園の施設形態を見ると、幼保連携型 69.6%、保育所型 11.8%、幼稚園型 17.0%、地方裁量型 1.5% となっており、幼保連携型の割合がもっとも高かった（図表 2）。

（図表 2）平成 28 年 認定こども園の施設形態



また、近年の待機児童問題を背景として保育所は増加傾向にある一方で、幼稚園は毎年減少しており、平成 27 年では前年に比べて約 1,200 件減少していた。幼稚園減少の要因には、認定こども園へ移行する幼稚園が増加していることや、全国的に公立幼稚園を削減する動きなどが影響しているといわれている。

なお、認定こども園の施設数を都道府県別に見ると、大阪府がもっとも多く、次いで兵庫県、青森県、北海道、茨城県が比較的多くなっていた（図表 3）。移行が多い圏域は限られているが、都市部や地方等人口の多さによる地域的な特徴はあまりみられなかった。

（図表 3）平成 28 年 認定こども園数（都道府県別）



（図表 4）平成 28 年 認定こども園への移行元施設の内訳



注）複数施設が合併し認定こども園になった場合もあるため、施設数と移行施設数は一致しない

平成 28 年に設置された認定こども園のうち、新規に開設された施設は極めて少なく、多くは保育所や幼稚園からの移行となっていた。移行元施設としては保育所が 61.8%、幼稚園が 34.5%であった（図表 4）。次章では、認定こども園と保育所はそもそものような経営状況にあるのか、その違い等について取り上げることとする。

### 2. 平成 26 年度認定こども園および保育所の経営状況

【認定こども園は保育所に比べ定員規模が大きく、経常増減差額は 6.8%と保育所を 1.4 ポイント上回る】

機構の融資先の平成 26 年度決算データを基に、認定こども園と保育所の経営状況を比較したところ、認定こども園は規模が比較的大きく、平均認可定員数は保育所より 28.8 人多い 135.1 人となっていた（図表 5）。

参考資料：独立行政法人福祉医療機構

「認定こども園と保育所の収益性の比較について」より

## ●性的虐待と男性保育者

先日子育伊達塾 乳幼児楽会主催で「性的虐待 予防セミナー」が開催されました。ここ数年で様々なニュースなどで男性保育者の性的虐待が取り上げられています。問題となっている保育現場での男性保育者の性的虐待ですが、男性のいるいないに関わらず社会全体で向き合っていかなければならない問題ではないかと思えます。なぜなら子どもの生活している日常や育っていく過程に大人の男性は必ず存在し、それが保育者であろうとなかろうと子どもと関わり良好な関係性の中で子どもが育っていく環境が必然だと思うからです。

男性だけがクローズアップされていますが、虐待を広くとらえるならば性別に関係なく、全体的な保育の質、子育て環境の質と捉えることができます。質を高めるには何が必要で何が問題なのか・・・。社会の中で皆が考え、高めあえる環境、文化でありたいものです。

当園には園長含め男性が4名おりますが、世の中の男女比率と同じく1:1で男性、女性両方の先生が子どもを保育し、それぞれの特徴や良いところが子どもの育ちを支え、促していくことが私の理想であり、そんな未来を夢見ています。

**企画趣旨**  
男性保育者が「人」として信頼され、一保育者として存在できる環境づくりをするための研修会です。  
虐待は起こりうることを前提に、しない・させない環境づくりを、男性保育者、管理職双方にご提案します。  
また、研修を受けていることを発信し、保護者から安心される園になれるよう修了証と、そのままに配布できるレベルの資料をお渡しします

**8月23日  
10:00  
～15:00**

参加費  
3500円/一般  
3000円/会員  
1000円/学生

**「うちの園は大丈夫!」って  
言いえますか?**

～子育て伊達塾 乳幼児楽会主催～  
**管理職と男性保育者のための  
性的虐待 予防セミナー**

**現状**  
昨今、仙台でも立て続けに男性保育者による性的虐待の容疑で逮捕者が出ています。全国から届くこのニュースの大半は男性による犯罪であると言われています。一部の男性保育者が原因ではありますが、男性保育者は怖い というイメージが持たれてしまうという現状が、男性保育者がいる園でもあることが、本会の調査でも明らかになっています。  
具体的な対策を打つべきですが、男性に絞った研修会は、性差別の問題も含めて各団体では開催が難しく、打開策がない現状があります

主催団体  
子育て伊達塾  
乳幼児楽会とは  
5年前より仙台の男性保育者が集まり、自主的に集まっている勉強会です。  
雑誌エデュカールにも連載記事を出すなど、保育の発信もしています。

後援  
協賛 (株) 建築工房零 (有) 高橋写真製版  
仙台中央タワニー (株) ゼロ科数場バカラッチョ

## ●9月の予定

- 3日(月) 環境学習プログラム(きじ)
- 5日(水) ヒロト体育教室(つる)
- 12日(水) ヒロト体育教室(きじ)
- 13日(木) 避難訓練
- 14日(金) 音楽教室(はと)
- 19日(水) 誕生会
- 26日(水) 運動会総練習
- 29日(土) 運動会

※なお、年間予定、及び追加予定については登降園打刻タブレットに、その行事の2週間前に表示されます。一覧と併せてご活用ください。